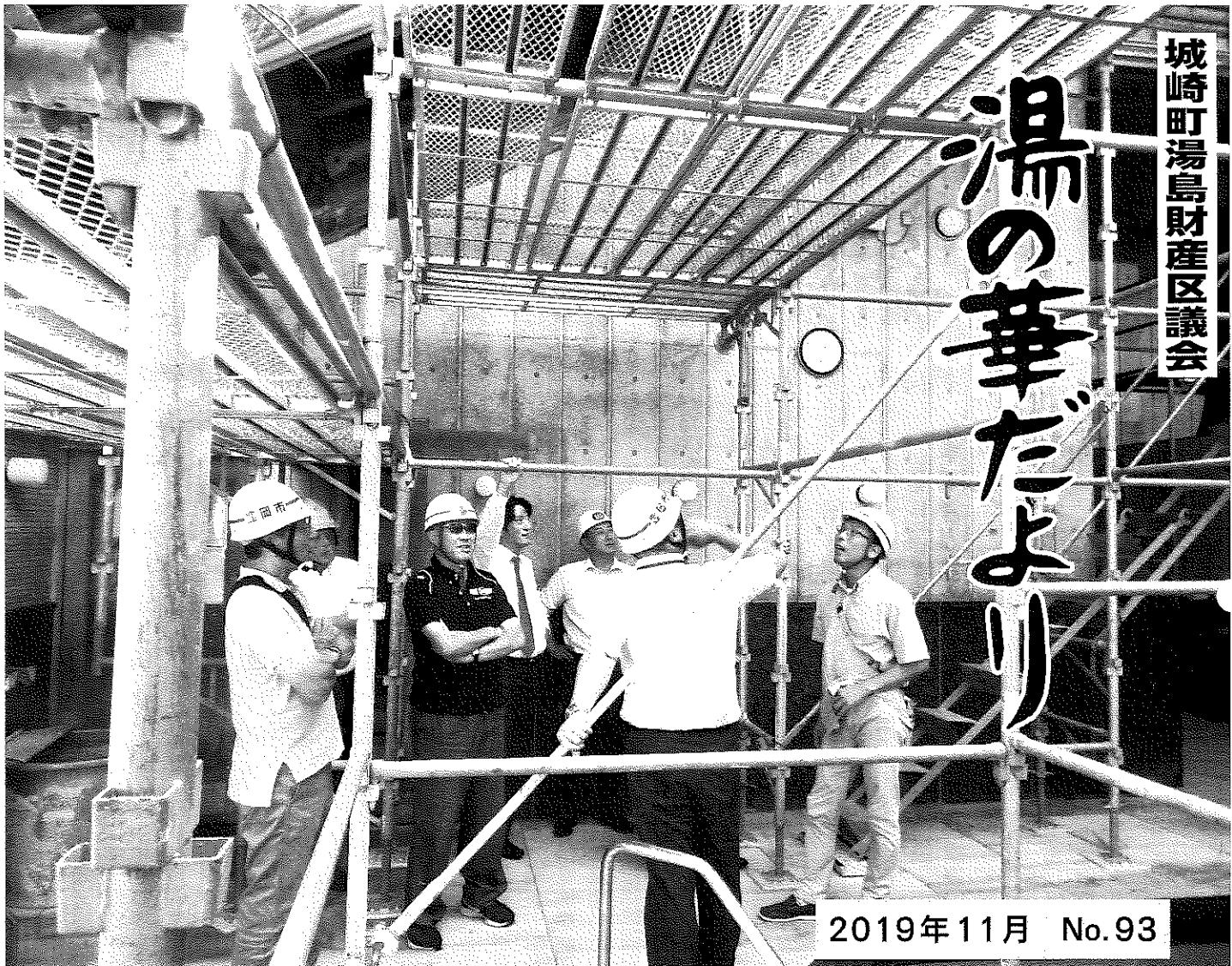


湯の事だより

2019年11月 No.93

区議会議員による「御所の湯」現地確認



九月定例会

(9月18日)

平成30年度豊岡市城崎町 湯島財産区特別会計歳入 歳出決算の認定について

平成30年度豊岡市城崎町湯島
財産区特別会計歳入歳出決算は、
賛成多数で認定しました。

平成30年度当初予算は、入浴
客数等が前年度並みの水準とな
る見込みで編成ましたが、7
月豪雨や台風21号などの災害が
発生し、城崎温泉への宿泊者に
影響を及ぼしました。

歳入の主なものとして、温泉
使用料の量では、前年度と比べ
4万1千円、0.6%増、宿泊人
員では前年度と比べ7万1千円、
0.5%減、温泉入浴料の一般
入浴料は前年度と比べ1万5千円、
0.9%増となりました。
歳出の主なものとして、総務
費の一般管理費では、消費税及
び地方消費税に1万2千円、財
産管理費では、積立金に5万9千
円、財産管理費では、積立金に
5万9千円を執行しました。
また、温泉費の浴場管理費
では、まんだら湯の桶風呂改修
工事に6万1千円、配湯源
泉管理費では、配湯所の非常用
発電設備更新に1万2千円、湯島
区議会執行しました。

議 会

城崎町湯島財産区議会

議 会

以上により、歳入総額は5億
4億9千570万1千円、歳入歳
出差し引き額は1万6千円、
実質単年度収支は2万283
万7千円の赤字決算となってい
ます。

(4ページのグラフ参照)

令和元年度豊岡市城崎町 湯島財産区特別会計補正 予算(第2号)

令和元年度豊岡市城崎町湯島
財産区特別会計補正予算(第2
号)は、3963万円の増額補
正を賛成多数で可決しました。

補正予算の主な内容は、歳入
では前年度繰越金を3963万
円増額し、歳出では4月の人事
異動等に伴い人件費を47万6
千円増額をされています。

また、本補正予算の歳入・歳
出の差額3915万4千円を浴
場整備基金に積み立てされてい
ます。

温泉利用の承認及び温泉 供給の許可について

(有)炭平旅館より「城崎炭平」
の温泉利用承認及び温泉供給許
可の申請がそれぞれ提出され
ました。9月4日の温泉審議会へ
諮問された結果、異議なしの答

湯の華だより

申を受け、本会議で審議し、賛成多数で可決しました。

請願
請願第1号

磯ヶ谷の早急な防水工事の実施を求める請願

〈提出者〉 藪内 効

し
つ
も
ん

質問及び答弁の趣旨は区議会広報委員会で編さんされたものです。

外湯の魅力アップに向けた取り組み

問
大將議員

年間100万人の観光客を受け入れている外湯においては、繁忙期においては慢性的な混雑が頻発しております。そのため、入場制限やお客様には【芋の子を洗うような】状況を感じておられる。ゆめば導入してすでに10年近くたち、お客様の動向についてのデータが蓄積さ

れたなかで、これらを生かしてより快適に外湯巡りを楽しめるように入浴客の分散化や導線の改善・他のイベントなどとの連携による改善は考えられないのか。

磯ヶ谷墓地をはじめとした区有墓地において、管理されていない墓地や急斜面の崩落など荒廃がみられる。民有地と区有地がまだら模様に存在する現状のなかで、財産区の負担が増して

問
大將議員

区有墓地について

しかし、外湯窓口での情報発信については不足しており、テクニカルサイネージ等の活用の可能性について検討したいと考えています。

さとの湯末使用スペースについて

ようには民地と国有地が混在し、
管理放棄された墓地もあるため
全体的な管理が困難な地域となっ
ています。この様な状況である
ことから、区画整理には時間も
費用も掛かると思われます。今
後墓地の運営方法も含め、慎重
に考えたいと思います。

ゆくことで、今後の維持管理に不安を覚えます。区民にとっての大好きな共有財産である墓地を将来にわたり維持管理してゆくためにも、寺院や他の所有者とも話し合い、安全で安心して利用できる墓地の為に区画の再整備や利用方法の再検討をすべきではないでしょうか。

ペースバックヤード化などを含めた新施設への更新を求めます。また、さとの湯洋風風呂にはドライサウナとセットである水風呂がなく、施設内容の格差があります。どちらの浴室でも同

壳収入による収益増を計画する
とあつたがその実施状況と結果
をお尋ねしたい。状況が改善に
向かっているのであれば、城崎
温泉の玄関口にあるさとの湯を
本来あるべき営業時間に戻すべ
きではないだろうか。観光客の
利便性を考え検討いただきたい。

いては、照明のLED化やガスコードエネレーションの導入により、光熱水費を決算ベースで比較すると平成27年度に比べ平成30年度は約700万円の減少となり、相応の効果があったと考えています。議員ご提案の土日、祝祭日の時間延長については、スタッフの確保等の問題を解決する必要があると考えています。

しかし、街の湯が臨時休湯している状況であることに着目し、10月から4カ月間は、臨時措置として、わとの湯にて時

問田岡議員

田岡議昌

約3年前、さとの湯を本来の営業時間に戻すべく試行期間を設け、引き続き検討すると当局から回答があつた。この3年間何をどのように検討してきたのか。加えてさとの湯で物品販

答
植物課長

答植田課長

物販売収入にござりまして
清涼飲料水の販売、タオルの販

湯の花だより

委員会のつどい

総務財産

常任委員会

8月28日

売、バスタオルのリースといったもので400万円程度の収入があります。

議員視察研修レポート

10月23日～24日、本年度の視察研修として、香川県仲多度郡

琴平町「こんぴら温泉郷」と赤穂市赤穂温泉へ行って参りました。

琴平町では、まず㈱琴平グラン

▼区有墓地・山林の維持管理について

利用者の高齢化や管理されていない墓地の増加に伴い、維持管理に支障をきたしている区有墓地の現状を協議した。増加傾向にある斜面の崩落や利用者の高齢化に伴う安全の確保からも、今後利用困難な場所からの移転も検討事項とすることとした。

▼御所の湯について

御所の湯で発生した天井部木材の落下について、現状の説明を当局から受けた。早期の復旧に向けた対策を依頼するとともに、今回の事案については原因の解明に向けた調査を行うべきという意見で一致を見た。

▼連絡体制について

緊急時の連絡についての内容の正確性や速報性、また今後の情報の共有範囲など改善を当局に要望した。

湯紅梅亭のみで使用されているこの源泉は泉源の深さが1800mで泉温が26.2℃、ナトリウム・カルシウム・塩化物温泉です。

城崎温泉に近い泉質が特徴です。平成24年には隣町の善通寺市から智光院温泉の源泉を琴平町が購入し、12軒の旅館への配湯を行っています。単純弱放射能冷鉱泉で泉温が19.3℃と低く、各旅館で加熱し使用しています。温泉は琴平町が管理し、1tあたり280円の使用料、年間約30万人の宿泊者からの150円の入湯税などで運営されておりま

す。

翌日は兵庫県赤穂市の赤穂温泉にある、潮彩きらら祥吉にて、塙田温泉夢乃井などを運営されている㈲三晃商事常務取締役の吉井祥二氏にお話を伺いました。

赤穂温泉はカルシウム塩化物泉で源泉温度は21℃、昭和44年開湯。比較的新しい温泉地で、平成12年に開業された潮彩きらら祥吉では瀬戸内海沿いのロケーションをフルに活用した浴場施設の充実に努められています。

「御所の湯」木質調査を実施しました



片岡英樹琴平町長の講演

城崎温泉においても歴史と温泉を核としたまちづくりの重要な性と、未来を見据える先見性を常に重視することにより、今後の温泉行政の更なる充実・発展へとつなげていく為の学びを得た一日間の視察研修でした。

(I・K記)

続いて、琴平町の現状と温泉管理について片岡英樹町長よりお話を伺いました。琴平町は江戸時代から金刀比羅宮参拝客向けの宿場町として栄えてきましたが、平成に入った頃からはレジャーの多様化に伴い、宿泊需要が落ち込み始めました。そこ

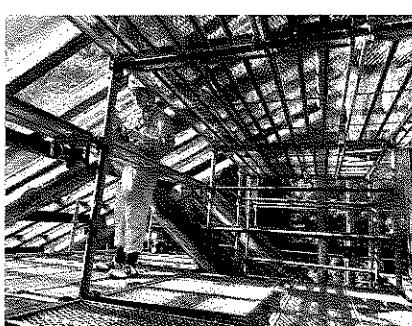
で前述の近兼孝休氏が平成9年工事を行う予定ですので、営業再開まで相当な時間を要すると言えられます。

皆様にはご迷惑をおかけしま

すが、ご理解いただきますようお願いいたします。(事務局)



専門業者による木質調査



各外湯で「Cカード」に入ができるようになりました

9月18日に一度目のシステム改修を実施しました。従来では、10枚単位で入浴券を購入し、枚数で管理する方式でしたが、この改修により、現金方式となり、チャージされた金額から入浴料

湯の華だより

5日	広報委員会	23日 （香川県仲多度郡琴平町）	議員視察研修	24日 （11月）	26日	13日	3日	28日 （8月）	18日	総務財産常任委員会
										区連絡会
										議員全員協議会
										第2回城崎町湯島財産区議会定例会
										「御所の湯」現地確認

が精算される方式に変更となりました。
10月23日、24日に二度目のシステム改修を実施しました。この改修により、各外湯でもICカードへのチャージが可能となりました。利用者の皆さんの利便性が高まることを期待しています。外湯でICカードに入金する際は浴場スタッフにお声掛けください。（事務局）

区議会のうごき

平成30年度 決算状況

性質別内訳

歳入 5億1,242万円

温泉による収入
4億1,095万円(80.2%)
その他の収入
7,252万円(14.1%)
営造物等事業収入
2,835万円(5.5%)
山林等財産収入
59万円(0.1%)

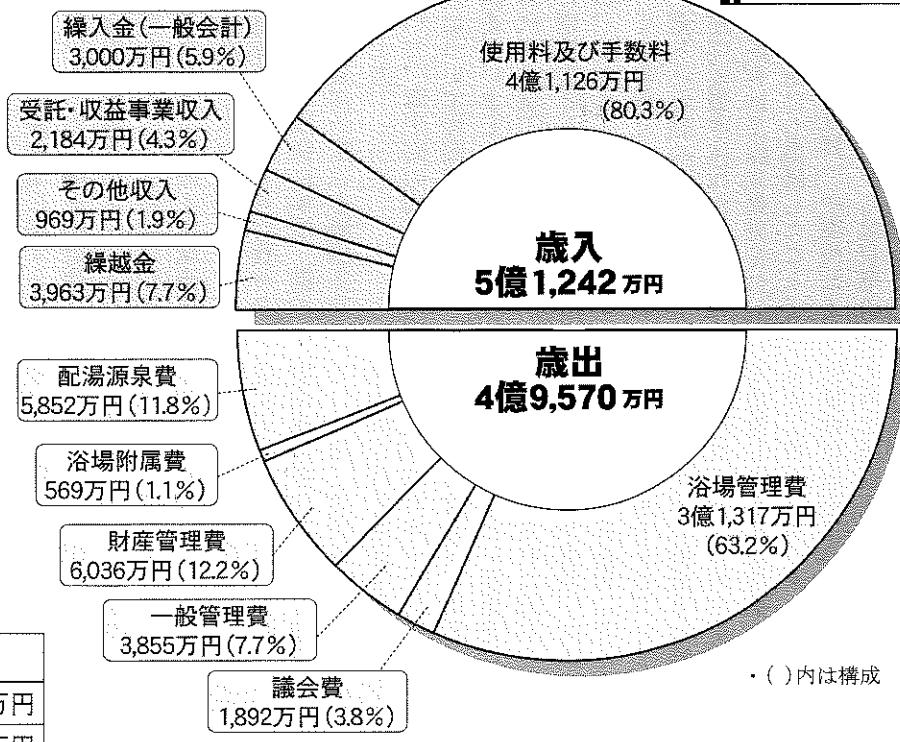
歳出 4億9,570万円

物件費 … 2億5,472万円(51.4%)
人件費 … 1億1,971万円(24.1%)
事業費 …… 3,548万円(7.2%)
その他 … 8,580万円(17.3%)

【年度末基金現在高】

財政調整基金 … 1億1,418万円
浴場整備基金 … 3億7,315万円

項目別内訳



外湯の入浴客数（2019年4月～9月）

		2018年	2019年	対前年比
日帰り	一般入浴券	77,251	90,203	16.77%
	一日入浴券	64,917	79,965	23.18%
	家族入浴券	582	606	4.12%
	計	142,750	170,774	19.63%
宿泊	契約入浴券	463,251	454,979	▲ 1.79%
	延長入浴券（9月末で廃止）	2,093	2,229	6.50%
	計	465,344	457,208	▲ 1.75%
その他	住民入浴券	45,318	42,321	▲ 6.61%
	市民入浴券	14,332	14,505	1.21%
	介護者・帰省者入浴券	3,091	3,712	20.09%
	優待入浴券	64,562	63,236	▲ 2.05%
	計	127,303	123,774	▲ 2.77%
合計		735,397	751,756	2.22%